

提案団体名: 大日本印刷株式会社

○提案内容

| <p>(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください</p> | |
|---|--|
| 技術の概要・実績等 | 技術の分野 |
| <p>1. 主旨 近年増加する地震などの災害に対して、災害情報や避難場所等のタイムリーな情報を多言語で発信することも求められています。DNPは災害時の停電状態においても、太陽光発電のみで稼働可能なデジタルサイネージの開発を進めています。</p> <p>2. 提供技術 ①「環境配慮型屋外液晶デジタルサイネージ」 1. 災害発生による停電状態でも情報発信が可能 商用電源が必要なく、太陽光発電のみでデジタルサイネージを稼働できるため、停電状態でも災害情報や避難場所などの情報を表示することができます。 また、電源が確保できずデジタルサイネージを設置できなかった場合でも太陽光が当たる場所であれば設置が可能です。 2. 環境配慮と液晶ディスプレイの高い視認性を両立 従来屋外に設置する液晶デジタルサイネージは、電力消費の多い高輝度のディスプレイが必要でしたが、今回ガラス密着型ディスプレイを搭載することで、屋内用のディスプレイと同等の輝度で視認性を向上。環境配慮と視認性の両立を実現しました。</p> <p>【実績】 都内公園にて2月から実証実験中</p> <p>②DNPオリジナルコンテンツ配信管理システム「SmartSignage」 ・デジタルサイネージに表示する情報(多言語地震速報、避難場所等)の制作、配信技術の提供。 ・DNPオリジナルコンテンツ配信・表示管理システム「SmartSignage」の提供</p> <p>【実績】 国内の公共交通機関、商業施設、自治体等での採用実績多数</p> <p>3. 提案 ○実証地域の公共空間(防災公園や避難場所等)等に設置し、自治体の公共情報(お知らせ、防災情報等)や緊急地震速報の提供</p> |  <p>(4)</p> |
| <p>(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください</p> | |
| 解決する課題のイメージ | 課題の分類 |
| <p>【解決する課題イメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共スペースにおいて避難場所や避難経路等の防災情報を啓蒙する手段がない ・災害により発電所が停止した際、住民や観光客に必要な情報が提供できる手段がない ・公園等の屋外に情報システムを導入したいが、必要な電源が確保できない | <p>(イ) (ウ) (ク)</p> |
| <p>(3) その他</p> | |

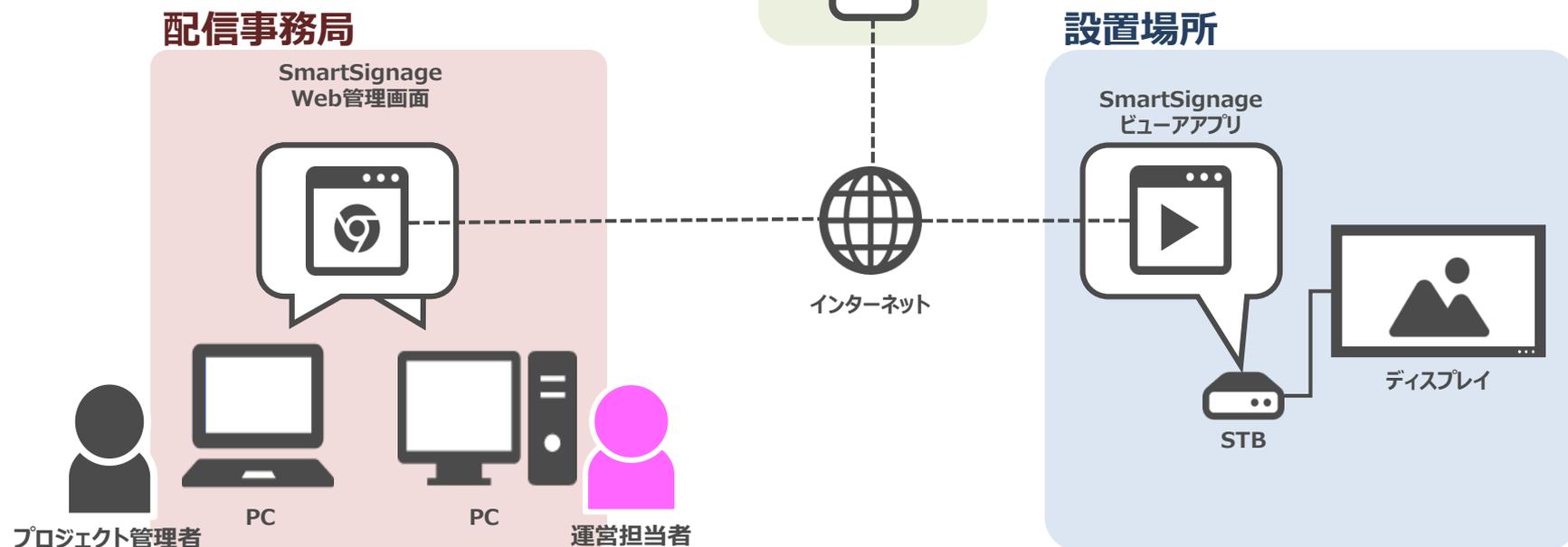
○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

| 部局名 | 担当者 | 連絡先(電話) | 連絡先(メール) |
|--|-------|---------------|--|
| 大日本印刷株式会社 ソーシャルイノベーション研究所 CSV企画室 | 斉藤 公紀 | 050-3170-4644 | Saitou-T7@mail.dnp.co.jp |

- 多様化するハード機器の機能に対応するためにDNPが開発したオリジナルの配信システム
- 社外サーバーとの連携が可能
(表示側はWebブラウジングではなくダウンロード型のため、外部コンテンツの安定した表示が可能)
- 状態監視や放映ログ等、稼働状況をデータとして残すことが可能

■ ネットワーク利用イメージ ■

- ・ブラウザからWeb管理画面を用いて配信処理を行い、サーバを介してコンテンツとスケジュールを受け取り放映する。



➤ 薄型で屋外仕様のデジタルサイネージにより街中での多言語の情報発信を実現

■ 特 長 ■

- 表面の強化ガラスと液晶ディスプレイを直接貼合することで、外光の反射を抑え、映り込みを低減。昼間でもクリアな映像を実現
- 緊急災害情報を表示可能、緊急時は避難経路を表示することで迅速に誘導可能
- 薄型にすることで今まで設置できなかったエリアへの設置が可能
- タッチパネルを搭載すれば周辺地図や情報検索を多言語化して、増加する外国人旅行者への情報提供も可能

屋外視認性イメージ



■ 活用シーン ■

- 自治体や街づくり協議会等の団体
- 観光地
- 駅やバス停等の公共交通機関等

